

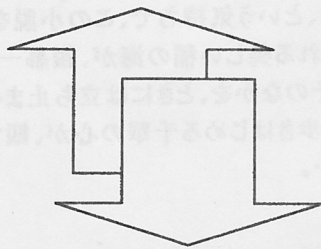
発行：宇都宮市青少年自立支援センターふらっぷ
中央1丁目1番13号中央生涯学習センター4階
TEL・FAX：028-635-5834
発行日：平成24年 6月 25日（第6号）

ふらっぷだより

サインには 心に届く ことばかけ



（「ふらっぷ」相談員の相談業務から）



【お子さんの出すサイン】

- ・朝、起きられなくなった
- ・食べる量が減った
- ・笑わなくなった
- ・目と目を合わせなくなった
- ・身だしなみを気にしなくなった

（「ふらっぷ」相談員の相談業務から）



青少年が健やかに成長していくため、「宇都宮市青少年自立支援センター（愛称：ふらっぷ）」では、青少年相談窓口の開設や関係機関・団体と連携した支援を行っています。

どんなこと話してよいか

「ふらっぷだより」前号で、お子さんの一番身近にいる家族がお子さんの出すサインに気付いてくださいという記事を掲載したところ、どのような言葉を掛けて良いかわからないといった相談をいくつかお受けしましたので、今号では具体的な言葉掛けを紹介しましょう。

伝えたい 気付いているよ

左上図のように、お子さん自身が“心配されている”“見守られている”と受け止めてくれるような、お子さんを気遣う言葉を掛けてください。

時には、「別になんでもないよ・・・」「放っておいてよ！」等の言葉が返ってくる事も考えられますが、お子さんの心には少なからず“気付いてくれている”といった思いは残ります。

すぐに結果を求めようとはせずに、時間が掛かっても焦らずゆっくりとお子さん自身を気遣う言葉を掛け続けてください。

そうすることで、お子さん自身のタイミングで打ち明けてくれるはずですよ。

「ふらっぷ」では、カウンセリングなどの専門知識のある相談員がお待ちしています。青少年は成長過程でさまざまな悩みや不安を持っており、家族だけでは解決につながらない場合があります。お気軽に「ふらっぷ」をご利用ください。



アンダンテ

～稲の旋律～



「ニート」や「ひきこもり」など青少年に関する問題への関心を多くの方に持っていたくために、青少年の自立を支援している団体や機関と協力して、7月21日、市立南図書館で、「うつのみや青少年自立支援イベント」を開催します。

内容は、ひきこもり状態の主人公（千華）が農業青年との交流を通して自立していくという映画「アンダンテ～稲の旋律～」の上映と原作者の講演、青少年自立支援団体による相談・活動内容展示です。

原作者は宇都宮大学出身で、在学中にひきこもりとなり、その経験をもとに書き上げた作品が映画化されたものです。

皆さんもこの映画と講演を通して、様々な悩みを持つ青少年への理解をさらに深めてみませんか。

青少年自立支援イベント

■日時・会場 7月21日（土）午前10時～午後5時。市立南図書館。

■内容 ①映画「アンダンテ～稲の旋律～」、原作者旭爪あかねさん講演会 午前10時30分～、午後2時～の2回②自立支援団体による合同相談会③自立支援団体活動内容の展示。

■定員 ①のみ各回先着400人。

■費用 映画前売り券大人1,000円（当日1,500円）・小中高生800円（当日1,000円）。その他は無料。

■その他 映画前売り券は、同イベント実行委員会事務局で取り扱い。

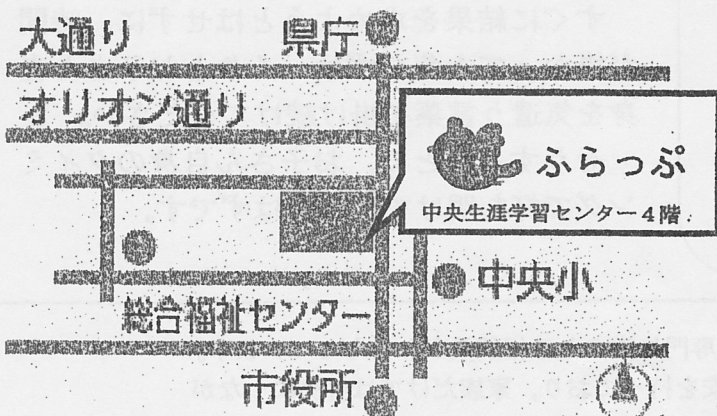
問同イベント実行委員会事務局（青少年自立支援センター内）TEL (635) 5834

原作：旭爪 あかね

千華やかつての自分とおなじように苦しんでいる人たちに、「悩んだり、苦しんでいるのはあなただけじゃないよ」と伝えたい、という気持ちで、この小説を書きました。泥から生まれる美しい稲の海が、銀幕一面に揺れている様子を想像します。そのなかを、ときには立ち止まったり後退もしながら、ゆっくりゆっくり歩きはじめる千華の心が、観てくださる方々の胸に届きますように…。



青少年の総合相談窓口「ふらっぷ」



みない～こ

◇相談専用電話 028-633-3715

◇相談時間 月曜～金曜 午前9時～午後5時

（ただし、祝日・年末年始は除く）

※予約の必要は無く、費用は無料です。
※相談内容は厳重に管理されますので、外部に漏れることはありません。

◇所在地

中央1丁目1番13号 中央生涯学習センター4階

◇ホームページ

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>